

沖ノ鳥島港湾工事 事故概要報告

- ①遠隔離島における活動拠点整備
- ②沖ノ鳥島港湾工事 事故概要
- ③沖ノ鳥島港湾工事事故原因究明・再発防止検討委員会

平成26年5月8日

国土交通省 関東地方整備局

①遠隔離島における活動拠点整備

※沖ノ鳥島工事事故報告(第28報)より抜粋

排他的経済水域及び大陸棚の保全及び利用の促進のための低潮線の保全及び拠点施設の整備等に関する法律」が平成22年6月に施行。本法において、遠隔に位置する離島に船舶の係留、停泊、荷さばき等が可能となる港湾の施設（特定離島港湾施設）の建設、改良及び管理は国土交通大臣が行うこととされている。

「排他的経済水域及び大陸棚の保全及び利用の促進のための低潮線の保全及び拠点施設の整備等に関する法律」に基づく基本計画が平成22年7月に閣議決定。（平成23年5月一部変更）

本計画に基づき、本土から遠く離れた遠隔離島（南鳥島、沖ノ鳥島）において、**排他的経済水域及び大陸棚の保全及び利用に関する活動の拠点**として、船舶の係留、停泊、荷さばき等が可能となる**特定離島港湾施設**を整備する。

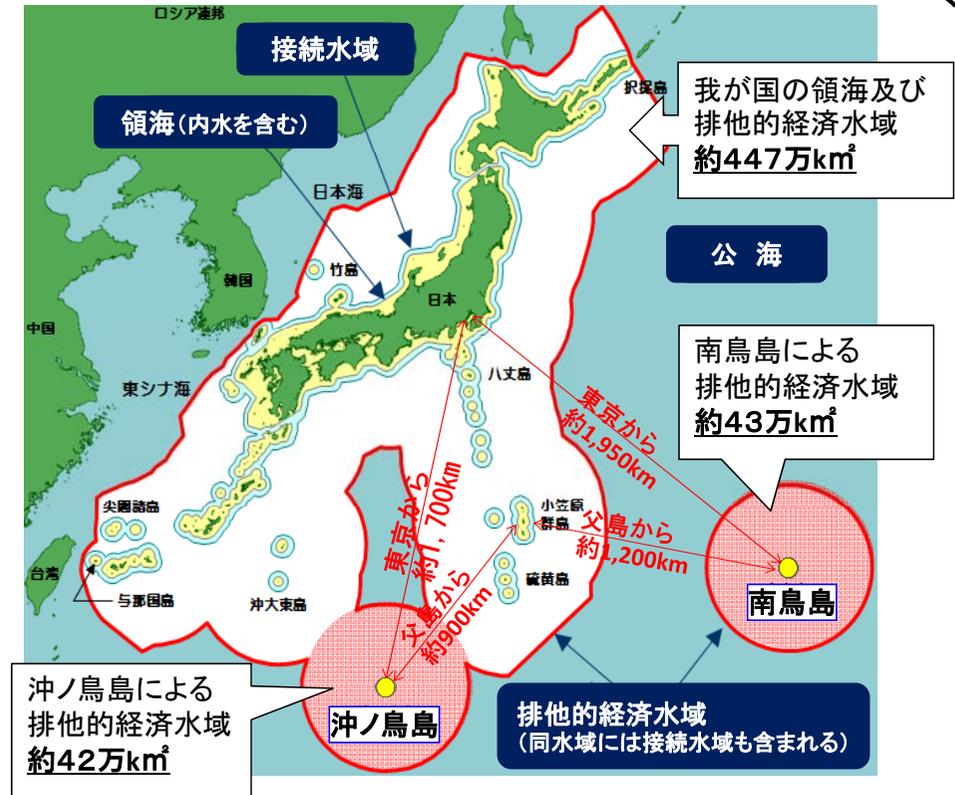
○特定離島港湾施設整備事業

南鳥島

- ・事業期間：平成22～27年度
- ・総事業費：250億円
- ・事業内容：岸壁（延長160m・水深8m）
泊地（水深8m）等

沖ノ鳥島

- ・事業期間：平成23～28年度
- ・総事業費：750億円
- ・事業内容：岸壁（延長160m・水深8m）
泊地（水深8m）
臨港道路 等



【沖ノ鳥島】



【南鳥島】

②沖ノ鳥島港湾工事 事故概要

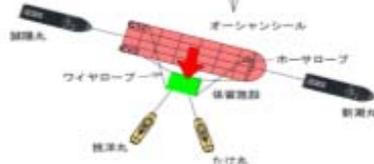
平成26年3月30日発生

※沖ノ鳥島工事事故報告(第28報)より抜粋

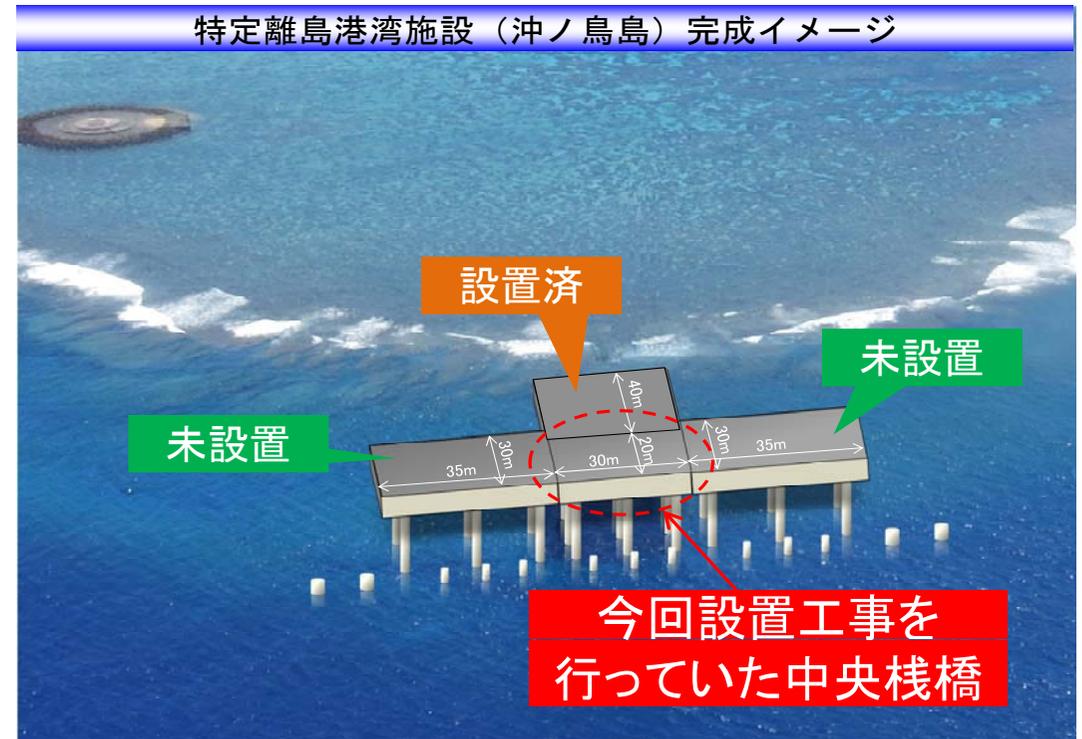
【事故発生箇所】



事故発生箇所



特定離島港湾施設（沖ノ鳥島）完成イメージ



②沖ノ鳥島港湾工事 事故概要

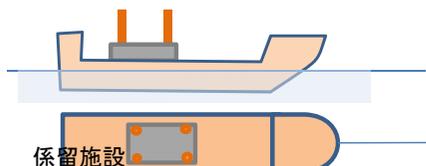
※沖ノ鳥島工事事故報告(第28報)より抜粋

【事故までの流れ】

中央棧橋海上運搬(北九州市若松から運搬)

誠陽丸

たけ丸

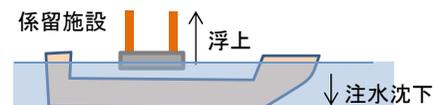


シンキングバージ・北九州出航 3月20日16:40～
・沖ノ鳥島到着3月28日06:00

シンキングバージで運搬中の中央棧橋



中央棧橋浮上



誠陽丸

新潮丸

ワイヤロープ
・浮上開始3月30日06:40～

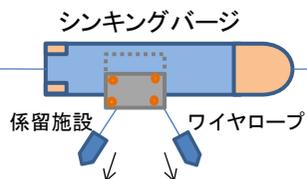


シンキングバージに注水し中央棧橋を浮上

中央棧橋引出し

誠陽丸

新潮丸



3月30日07:20～

転覆: 3月30日07:30

中央棧橋

CP5001(起重機船)

起重機船に転倒した中央棧橋を横付けしている状況

進水中の中央棧橋



浮上中に傾斜した中央棧橋



転倒し裏返しになった中央棧橋



中央棧橋を引いた後のシンキングバージ



③沖ノ鳥島港湾工事事故原因究明・再発防止検討委員会

※沖ノ鳥島工事事故報告(第28報)より抜粋

【委員会の位置づけ】

【目的】

委員会は、平成26年3月30日に発生した沖ノ鳥島における栈橋本体の転覆事故について、設計及び施工方法等の状況把握を行い、事故原因の究明及び再発防止に向けた技術的検討を行うことを目的とする。

【検討内容】

委員会においては、沖ノ鳥島港湾工事に関して以下に掲げる事項について検討を行う。

- (1)事故発生時の状況把握
- (2)設計及び施工計画のレビュー
- (3)事故原因の検討
- (4)再発防止策の検討
- (5)その他目的に必要な事項の検討

【委員名簿】

委員長	間瀬 肇	京都大学防災研究所沿岸防災分野 教授(海岸防災工学)
委員	鈴木 英之	東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授(造船工学)
	依田 照彦	早稲田大学大学院創造理工学研究科 教授(構造工学)
	高橋 重雄	(独)港湾空港技術研究所理事長(海岸工学)
	小泉 哲也	国土技術政策総合研究所港湾研究部長(港湾設計、海象)

(敬称略 順不同)

事務局 国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部

